

陳 情 書

平成 24 年 1 月 23 日

文京区長 成澤廣修 殿

文京区議会議長 宮崎文雄 殿

〒112-0011 東京都文京区千石 2-
広田 淳子
電話・FAX：03-3944-5934
〒112-0001 東京都文京区白山 4-
稲葉 信子
電話：03-5976-8223

陳情内容：下記の 1～4 を要望する署名を提出いたします。東京大学職員組合と、東京大学理学部職員組合とが、それぞれ機関署名の形でこの問題についてご意志を表明下さったものです。それと関連した 5 を含め、5 点について、要望いたします。昨年 12 月 13 日には同趣旨の署名 3378 筆を提出いたしました。この問題に対して、世間の多くの人が疑問を抱いていることは明らかです。区のほうで問題点を真摯に受けとめ、要望に応じてくださるよう、お願いいたします。なお、署名簿の正本は、本日、要望書とともに東京大学総長に提出いたしました。

- 1 小石川植物園の周辺道路（区道）の拡幅のために、小石川植物園の敷地を大幅に削る事業計画を見直して、植物園の敷地をできるだけ削らないものに変更してください。
- 2 文京区の小石川植物園周辺道路基本計画（案）による、小石川植物園脇の区道の拡充工事を、準備作業も含めてすぐに停止していただきたい。
- 3 この計画に関して、文京区、東京大学、小石川植物園、東京都、及び一般区民（近隣及び区内在住者等）の 5 者で協議する場を、急いで設けてください。
- 4 この計画の可否について、文京区のコミュニティゾーン整備協議会であらためて議論をしてください。
- 5 文京区は、小石川植物園の学術的価値に鑑みて、今回の計画を、植物学の研究の観点から及び近世史の研究上の観点から問題なしと判断されるのか否かを教えていただきたい。また、その判断にあたって、植物学者や近世史研究者の意見を聴取したのかどうか及びそれらの専門家からどのような判断がなされたのかを教えてください。この計画についての意見を聴取していただきたい。また、計画地における

遺跡・遺構の調査については区が進めていますが、東京大学の遺跡・遺構の調査を担当する東京大学埋蔵文化財調査室との協議や協力がどこまで得られているのかを教えてください。

陳情理由：現在、文京区が計画している小石川植物園周辺道路基本計画（案）は、東京大学が所有する小石川植物園の敷地を大きく削る計画です。西側道路側は、大半の部分が約1～2メートルずつ削られ、のべ1200平方メートルもの植物園の敷地が道路の拡幅に提供され、多くの植物が失われてしまいます。御殿坂側は最大2.9メートル削られてしまいます。

昨年12月8日には東京新聞が、また、今年1月5日には、朝日新聞がこの問題をとりあげて報道しました（別紙1、2）。そうしたこともあって、この問題は、ようやく広く世間の人たちの危機感を呼びつつあります。景観や住環境に関する団体、遺跡や文化財の保護に関わる団体、植物学や植物愛好の関係の団体など、さまざまな団体の方々が、この問題について私たちの主張を支持し、支援を表明してくださっています。団体として意見をとりまとめていくには、どうしても手続き的に時間がかかりますが、そうした中で、いち早く、東京大学の全学および理学部の職員組合のみなさんの機関署名が届きました。私たちはたくさんの人たちにこの問題についてお知らせしてきましたが、この計画に賛成を表明される方は、圧倒的に少数です。韓国、筑波大学、京都大学の植物学の名誉教授の方や、文京区の郷土史に詳しい方、著名な文化人の方などからもぜひ植物園を守ってほしいとのメッセージと一緒に署名が届いています。植物学や近世史研究の観点から、今回の計画が果たして大丈夫なのかという懸念を抱かざるをえません。なお、小石川植物園が21世紀のバイオ産業などの知の拠点として機能していくためには、珍しい草木の保存だけでなく、生態系を維持するためにその周囲の雑木も土壌や水の循環も含めて、全体の規模を縮小せずに維持されていく必要があるはずです。その意味では国益にも反しているのではないかという思いを抱かざるをえません。

このままでは、住民に必ずしも必要ではない道路拡幅のために、1700年代からの形状を保ってきた貴重な歴史的遺産であるはずの小石川植物園が、不当に削られてしまう計画が実施されてしまいます。

歴史的な遺産や文化財を大切にしてこそ、「文の京・文京区」の名に値します。どうかよろしく願いいたします。